

作成日 2025/03/25
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	フロントガラス簡単補修セット
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	フロントガラスの小さいキズ、ヒビ割れなどの簡易補修用
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。
整理番号	M250325

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険性 健康有害性	引火性液体 区分4 急性毒性(経皮) 区分4 急性毒性(吸入:蒸気) 区分3 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓)
環境有害性	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器) 水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H227 可燃性液体
H312+H332 皮膚に接触した場合や吸入した場合は有害

H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318 重篤な眼の損傷
H331 吸入すると有毒
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H371 呼吸器、腎臓の障害のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書き
安全対策

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

応急措置

環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

保管

漏出物を回収すること。(P391)
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ベンジルメタクリレート	20.0～30.0%	C11H12O2	(3)-1017,(3)-1047	既存	2495-37-6
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	20.0～30.0%	不明	(2)-1044	既存	868-77-9
イソボルニルアクリレート	20.0～30.0%	不明	(4)-1552	7-(2)-96	5888-33-5
オクチルアクリレート	1.0～10.0%	不明	(2)-990	既存	2499-59-4

デシルアクリレート	1.0～10.0%	不明	(2)-990	既存	2156-96-9
アクリル酸	4.99%	CH ₂ =CHCO OH	(2)-984	既存	79-10-7
3-グリシドキシプロピルトリ メトキシシラン	2.99%	不明	(2)-2071	既存	2530-83-8

4. 応急措置

吸入した場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状注水。

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な 保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物は回収すること。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
有害でなければ、火気、換気などに充分注意して蒸発、拡散させる。又は、散水して蒸発を促進させてもよい。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意事項

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

火気厳禁
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
涼しい所に置くこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

情報なし

保管

安全な保管条件

火気厳禁
 施錠して保管すること。
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。
 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。
 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ベンジルメタクリレート	未設定	未設定	未設定
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	未設定	未設定	未設定
イソボルニルアクリレート	未設定	未設定	未設定
オクチルアクリレート	未設定	未設定	未設定
デシルアクリレート	未設定	未設定	未設定
アクリル酸	未設定	未設定	設定あり
3-グリンドキシプロピルトリメトキシシラン	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
ベンジルメタクリレート	未設定	未設定
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	未設定	未設定
イソボルニルアクリレート	未設定	未設定
オクチルアクリレート	未設定	未設定
デシルアクリレート	未設定	未設定
アクリル酸	2ppm(適用日:2025/10/01)	-(適用日:2025/10/01)
3-グリンドキシプロピルトリメトキシシラン	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

形状

液体

色

無色透明

臭い

特徴的な臭い

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界 下限
／可燃限界

データなし

上限

データなし

引火点

74℃(セタ密閉式)

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

17cP

溶解度

実質的に水に不溶

n-オクタノール／水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の条件下では安定である

危険有害反応可能性

通常の処理では危険有害な反応は起こらない

避けるべき条件

極端な高温と直射日光

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

通常取り扱い条件では発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が2178.997996mg/kgのため区分5とした。

JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

経皮	急性毒性推定値が1205.6117447mg/kgのため区分4とした。
吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が1221ppmのため区分3とした。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が3.3547787mg/lのため区分4とした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	10×(区分1+1A+1B+1C)の成分合計が49.9%のため、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	眼区分1の成分合計が7.98%のため、区分1とした。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	区分1の成分が24%のため、区分1とした。
生殖細胞変異原性	区分2の成分が2.99%のため、区分2とした。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	(生殖毒性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)の成分が4.99%のため、区分2(呼吸器)とした。 区分1(腎臓)の成分が4.99%のため、区分2(腎臓)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	※区分2(肝臓)は4.99%含まれる。 区分1(呼吸器)の成分が4.99%のため、区分2(呼吸器)とした。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1×毒性乗率の成分合計が31.98%のため、区分1とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が52.89%のため、区分3とした。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

Regulatory Information Not dangerous goods
by Sea

Marine Pollutant Not applicable

Transport in bulk Not applicable
according to
MARPOL
73/78,Annex II ,and
the IBC code

Regulatory Information by Air Not dangerous goods

国内規制

陸上規制 消防法の規定に従う。

海上規制情報 非危険物

海洋汚染物質 非該当

MARPOL73/78附属 非該当
書 II 及びIBCコードに
よるばら積み輸送さ
れる液体物質

航空規制情報 非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードを携行する。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

アクリル酸

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)

アクリル酸(政令番号:2)(5%未満)(営業秘密)

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)

アクリル酸

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

2-[[3-(トリメトキシシリル)プロポキシ]メチル]オキシラン

	皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧）
労働安全衛生法（令和7年4月1日以降）	アクリル酸 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2） アクリル酸 メタクリル酸2-ヒドロキシエチル 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） アクリル酸（安衛則別表第2の番号：4）（5%未満）（営業秘密） メタクリル酸2-ヒドロキシエチル（安衛則別表第2の番号：1994）（20%～30%）（営業秘密） 濃度基準値設定物質（安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号）
労働安全衛生法（令和8年4月1日以降）	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2） アクリル酸 メタクリル酸2-ヒドロキシエチル 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） アクリル酸（安衛則別表第2の番号：4）（5%未満）（営業秘密） メタクリル酸2-ヒドロキシエチル（安衛則別表第2の番号：1994）（20%～30%）（営業秘密）
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	非該当 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） アクリル酸及びその水溶性塩（管理番号：4）（5.0%） トリメトキシ-[3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル]シラン（管理番号：693）（3.0%）
化審法 消防法 水質汚濁防止法 大気汚染防止法 海洋汚染防止法	優先評価化学物質（法第2条第5項） 第4類 引火性液体 第三石油類（非水溶性） 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3） 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 個品運送P（施行規則第30条の2の3、国土交通省告示）
外国為替及び外国貿易法	有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 輸出貿易管理令別表第1の4項 輸出貿易管理令別表第1の16の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
労働基準法	疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号）

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。